



システムソフトウェアインストールガイド

はじめにお読みください

このたびは、バージョンアップキットPM1DV2Kをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

PM1DV2Kは、お使いのPM1Dのシステムソフトウェアをバージョンアップして、多くの要望に応じて実現した多彩な機能によりPM1Dのポテンシャルを更に引き出すためのソフトウェアパッケージです。

PM1DV2Kの優れた機能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、このインストールガイドをご使用前に必ずお読みください。

- このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- 巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- 市販の音楽データは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアのCD-ROMは、オーディオ用ではありません。一般のオーディオ用CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- このインストールガイドに記載されている画面やイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。
- 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

ヤマハプロオーディオホームページ：
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

目次

パッケージについて.....	2
パッケージの内容.....	2
CD-ROM の内容.....	2
マニュアルの構成.....	2
ファームウェア /CS1D 画面ソフトウェアの アップデート.....	2
PM1D システムをご使用前に.....	2
動作環境.....	2
バージョンチェック機能について.....	3
システムアップデート方法.....	4
ファームウェアのアップデート方法 (CS1D/DSP1D(-EX)/A18/AO8/DIO8).....	4
CS1D 画面ソフトウェアのアップデート方法.....	6
ライセンスのインストール.....	7
動作環境.....	7
インストールの流れ.....	7
直接インストール.....	8
間接インストール.....	10
直接デオーソライズ.....	11
間接デオーソライズ.....	12
エラーメッセージリスト.....	13
トラブルシューティング.....	14
ソフトウェアのご使用条件.....	15

パッケージについて

パッケージの内容

パッケージには、以下のものが同梱されています。ご使用前に必ずご確認ください。

- ・CD-ROM 1枚
- ・各種マニュアル3冊

CD-ROMの内容

・ファームウェア/CS1D画面ソフトウェアのアップデート
各コンポーネントのファームウェアおよびCS1D画面ソフトウェアをV2にアップデートするためのアプリケーションおよびデータです。

・インストーラー (System Software Installer)
V2にアップデートされたソフトウェアを認証するためのインストーラーです。

・PM1D Manager
PM1D Managerは、CS1Dと同等の環境をコンピューター上で実現するためのアプリケーションプログラムです。PM1D Managerのインストール方法および使用方法については、PM1D Manager取扱説明書をご覧ください。

・ヤマハUSB-MIDI Driver
コンピューターとCS1DのUSB端子を接続するために必要なドライバです。システムソフトウェアのバージョンアップには使用しません。インストール方法については、PM1D Manager取扱説明書をご参照ください。

・各種取扱説明書(PDF形式)
紙マニュアルと同じ内容でPDF形式の取扱説明書が入っています。

NOTE : PDFマニュアルをご覧になるには、コンピューターにAdobe Reader(無償)がインストールされている必要があります。Adobe Readerをお持ちでない方は、下記URLからAdobe社のページを開き、Adobe Readerをダウンロードしてください。
<http://www.adobe.co.jp>

マニュアルの構成

システムソフトウェア インストールガイド (本書)
はじめに、パッケージの内容、動作環境、システムソフトウェアのインストール方法をご確認ください。

PM1D Version 2 追補マニュアル
システムソフトウェア Version 2での変更内容を説明しています。

PM1D Manager 取扱説明書
PM1D Managerのインストール方法および使用方法を説明しています。

ファームウェア/CS1D画面ソフトウェアのアップデート

システムソフトウェアのライセンスをインストールする前に、以下の手順に従って各ソフトウェアをV2にアップデートする必要があります。

PM1Dシステムをご使用前の

PM1Dシステムでは、CS1D/DSP1D(-EX)/AI8/AO8/DIO8(以下、各コンポーネント)が独立して動作するために各コンポーネントにソフトウェアが組み込まれています。そのためすべてのソフトウェアを必要なバージョンにアップデートして、整合をとる必要があります。この作業を怠ると、CS1Dのバージョンチェック機能が働くので正常に起動しません。

各コンポーネントのご購入時期の違いによりこれらのソフトウェアバージョンの整合がとれていない可能性がありますので、必ず初回のご使用前に付属のCD-ROMを用いてシステム全体のアップデートを行なってください。

一度システム全体の整合をとれば以後はアップデートする必要はありません。ただし新規にユニットを追加する場合や、新しいICD-ROMを使ってバージョンアップをする場合には再度アップデートをする必要があります。



- ・付属のCD-ROMを使ってシステム全体のアップデートを行なってください。また、システムアップデート後は、必ずINITIALIZE ALL MEMORIESを行なってください。アップデートやINITIALIZEを怠った場合、動作保証は致しません。INITIALIZE ALL MEMORIESについての詳細はリファレンスマニュアル(ソフトウェア編)の「メモリーの初期化について」の項をご参照ください。
- ・工場出荷時にシステムソフトウェアがV2になっているCS1DにはPRODUCT IDがありませんので、一度V2より前のバージョンにするとV2に戻す(V2のライセンスをインストールする)ことができないのでご注意ください。V2に戻せなくなった場合には、バージョンアップキットPM1DV2Kをご購入していただくことになります。

動作環境

アップデート作業には、次のシステム構成が必要です。

- ・Pentium II 233MHz以上およびメモリー64MB以上を持つIBM PC/AT互換のコンピューター(Pentium II 350MHz以上およびメモリー128MB以上を推奨)

NOTE :

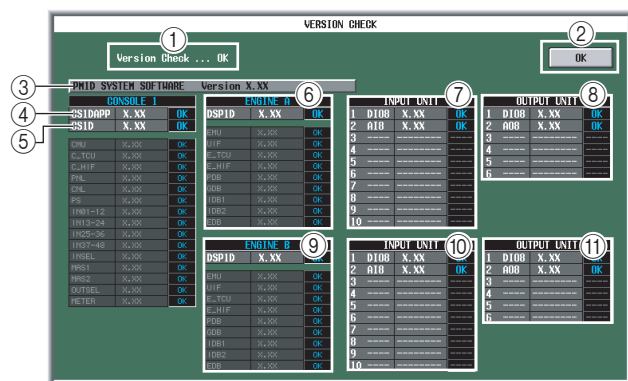
- ・ご使用環境やOSの種類によっては、上記以上の性能が必要な場合があります。
- ・ノート型コンピューターをご利用の場合、上記システム構成の最低基準よりも高い性能が必要になる場合があります。また、Windowsのコントロールパネルにある電源オプション設定やノート向けCPU固有の電源制御システム(SpeedStep(Intel社製)、PowerNow!(AMD社製)、LongRun(Transmeta社製)などの設定は、通信機能が不安定になる原因になります。これらの機能をオフに設定し、電源アダプターを使用した状態でご使用ください。
- ・各ソフトウェアの最新バージョン、および動作環境については、下記URLに最新情報が掲載されています。

<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

- Internet Explorer 4.0以降
- 解像度800x600ドット(SVGA、High Color)以上表示可能な環境
- 10MB以上のハードディスクの空き容量
- マウス
- CD-ROMドライブ
- シリアルポート
- RS-232Cケーブル(クロス接続)
- PCMCIA Type IIに対応したATA規格に準ずるPC FLASH STORAGE CARD (以下、メモリーカード) × 1枚
- PCMCIA Type II CARD SLOTを持つ機器(CD-ROM内のファイルメモリーカードにコピーできる環境)

バージョンチェック機能について

CS1D画面ソフトウェアには、全コンポーネントのソフトウェアバージョンが正常な組み合わせとなっているかをチェックする機能が組み込まれています。異なるバージョンの組み合わせや故障した部位があると、CS1Dの起動時にVERSION CHECKポップアップが現れます。全コンポーネントが正常な場合には現れません。ここではこれらのバージョンチェック機能について説明します。



- ① 判定メッセージ欄
- ② OK ボタン (表示されないこともあります)
- ③ PM1D SYSTEM SOFTWARE バージョン表示欄
- ④ CS1D 画面ソフトウェアバージョン表示欄
- ⑤ CS1D ファームウェアバージョン表示欄
- ⑥ ENGINE A 側 DSP1D(-EX) ファームウェアバージョン表示欄
- ⑦ ENGINE A 側 INPUT UNIT ファームウェアバージョン表示欄
- ⑧ ENGINE A 側 OUTPUT UNIT ファームウェアバージョン表示欄
- ⑨ ENGINE B 側 DSP1D(-EX) ファームウェアバージョン表示欄
- ⑩ ENGINE B 側 INPUT UNIT ファームウェアバージョン表示欄
- ⑪ ENGINE B 側 OUTPUT UNIT ファームウェアバージョン表示欄

④から⑪の各バージョン表示欄は以下のような意味を持っています。

	⑫	⑬	⑭
1	D108	X.XX	OK
2	A18	X.XX	OK
3	-----	-----	-----
4	-----	-----	-----
5	-----	-----	-----
6	-----	-----	-----
7	-----	-----	-----
8	-----	-----	-----
9	-----	-----	-----
10	-----	-----	-----

- ⑫ コンポーネント名またはファームウェア名
- ⑬ ⑫ に対するファームウェアバージョン表示欄
- ⑭ 判定結果

これらの表示のうち、白文字表示されている行はそのコンポーネント全体としてのバージョンを表しています。また、他の行よりも小さい文字で灰色表示されている行はさらに細かくコンポーネント内部の各 CPU に対するファームウェアのバージョンを示しています。これらのうち ⑬⑭ の表示については以下の種類があります。

・ ⑬の表示一覧

x.xx (数値)	ファームウェアバージョン
NO REPLY	コンポーネント内部の CPU が応答しない
-----	DSP1D(-EX) に基板が未挿入
DIFF.	DSP1D(-EX) に基板が間違っって挿入されている

・ ⑭の表示一覧

OK	正常
----	未接続 (正常)
NG	コンポーネント内部のファームウェアバージョンが不正もしくはコンポーネント内部の CPU が応答しない
OLD	バージョンが古い
NEW	バージョンが新しい
DIFF	バージョンの組み合わせが不正

上記の判定を総合して、①の部分にメッセージが表示されます。このポップアップが現れた場合は、次の説明を参考に原因を取り除いてください。

[OK以外の判定について]

INPUT UNIT/OUTPUT UNITとCS1Dの操作子制御用のファームウェア以外に異常がある場合はOKボタン②が現れません。この場合、画面操作や操作子操作がまったくできない状態となりシステムがコントロールできなくなります。

このままでは正常動作が保証されない状態ですので、問題となった原因を取り除いてください。原因を取り除くまでは回復しませんのでご注意ください。

INPUT UNIT/OUTPUT UNITとCS1Dの操作子制御用のファームウェアに異常がある場合は、OKボタン②が現れます。OKボタンをクリックすると、異常があるコンポーネントまたはコンポーネントの一部を無視して強制起動します。

このとき、どのコンポーネントを無視したかを確認するためのポップアップが出て以下の制限をしますが、他の正常なコンポーネントは動作するため残りの部分でシステムをコントロールすることができます。

INPUT/OUTPUT UNIT部分

INPUT UNIT がOK 以外の場合	該当 UNIT だけミュート・コントロール不能
OUTPUT UNIT が OK 以外の場合	該当 UNIT だけミュート・コントロール不能

CONSOLE 部分

INPUT01-12 が OK 以外の場合	INPUT ブロック (CS1D 左下) 操作不能
INPUT13-24 が OK 以外の場合	INPUT ブロック (CS1D 左上) 操作不能
INPUT25-36 が OK 以外の場合	INPUT ブロック (CS1D 右下) 操作不能
INPUT37-48 が OK 以外の場合	INPUT ブロック (CS1D 右上) 操作不能
INSEL が OK 以外の場合	SELECTED INPUT CHANNEL ブロック 操作不能
MAS1 が OK 以外の場合	MIX OUTPUT / DCA GROUP ブロック 操作不能
MAS2 が OK 以外の場合	MIX OUTPUT / DCA GROUP ブロック 操作不能
OUTSEL が OK 以外の場合	SELECTED OUTPUT CHANNEL ブロック、SCENE MEMORY ブロック、MASTER ブロック、LCD FUNCTION ACCESS ブロック、USER DEFINE ブロック、STEREO OUTPUT ブロック、データエンターブロック (トラックパッド & 左右スイッチは除く) 操作不能
METER が OK 以外の場合	メーターブリッジブロック機能停止

これらの制限は、問題になった原因を取り除きCS1Dの電源を再度入れることで回復します。

NOTE :

- これらの問題は通常、次項で説明するシステムアップデートを実行すれば改善されますが、それでも改善されない場合は、お手数ですが当社サービスセンターまでご連絡ください。
- UNIT に異常がある場合は D-Sub ハーフピッチ 68pin ケーブルの接触不良もお確かめください。ピンが折れ曲がっていたり、押し込まれていると正常に動作しません。

システムアップデート方法

システムアップデートの際には、すべてのコンポーネントに対してアップデート作業を行なう必要があります。下記の手順でファームウェアアップデートとCS1D画面ソフトウェアアップデートを行なってください。



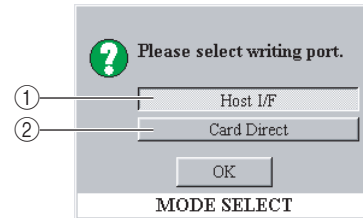
本システムを使ってお客様が作成されたシーンデータなどは、アップデート作業前に必ずメモリーカードへバックアップしてください。アップデート作業をすると本体内のデータが失われます。メモリーカードにデータを保存する方法については、リファレンスマニュアル(ソフトウェア編)をご参照ください。

ファームウェアのアップデート方法 (CS1D/DSP1D(-EX)/AI8/AO8/DIO8)

各コンポーネントのファームウェアアップデートにはソフトウェア「PM1DLOAD」を用います。基本的な操作方法と各ファームウェアのアップデート方法について以下に説明します。

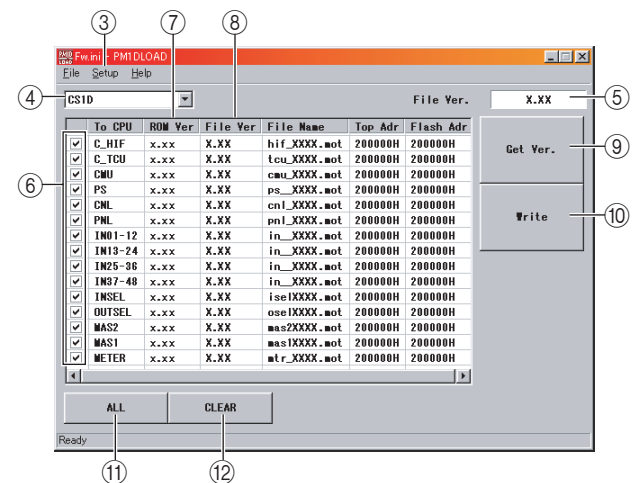
[PM1DLOAD 各画面説明]

MODE SELECT(モードセレクト)画面



- ① シリアルポート経由書き込みモード
必ずこちらを選択してください。
- ② 基板直接書き込みモード
選択しないでください。

メイン画面



③ [Setup] メニュー

Serial Port	コンピューター側で使用するシリアルポート (ポート 1 ~ 9 のみ対応) を選択
Connection Point	PM1D システム側で使用するシリアルポート (ポート 1 ~ 9 のみ対応) を選択
Fonts	表示フォントを変更

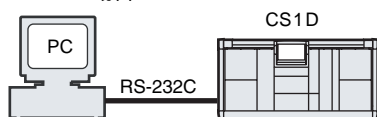
- ④ 対象選択メニュー 書き込みたいコンポーネントを指定
- ⑤ 全体バージョン これから書き込むバージョンの表示 (総称としてのバージョン)
- ⑥ 書き込みチェック欄 ... 書き込み対象の選択用チェックボックス
- ⑦ ROM バージョン欄 ... 現在書き込まれているバージョンの表示
- ⑧ File バージョン欄 これから書き込むバージョンの表示
- ⑨ [GetVer.] ボタン ROM バージョンを取得するためのボタン

- ⑩ [Write] ボタン書き込みチェック欄 ⑥ のチェック項目すべてに対し、ファームウェア書き込みを開始するボタン
- ⑪ [ALL] ボタン書き込みチェック欄 ⑥ のチェックをすべて付ける
- ⑫ [CLEAR] ボタン書き込みチェック欄 ⑥ のチェックをすべて外す

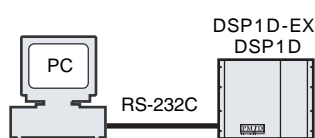
[PM1DLOAD 使用方法]

1 アップデート対象の種類により、下記の経路にてコンピューター(PCと表記)からファームウェアが伝送されアップデート作業が行なわれるため、RS-232Cケーブル(クロス接続)D-Sub ハーフピッチ 68pin ケーブル を用いて、下記の伝送経路が確保できるように接続し電源を入れます。

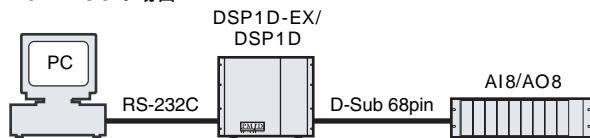
・ CS1D の場合



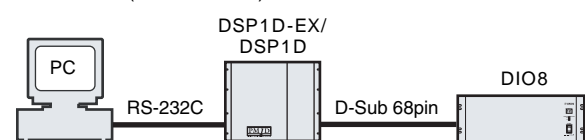
・ DSP1D-EX の場合 / DSP1D の場合



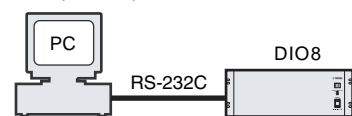
・ A18 / AO8 の場合



・ DIO8 の場合(DSP1D経由)



・ DIO8(Direct)の場合



- ・ PM1Dシステムを使ってお客様が作成されたシーンデータなどは、アップデート作業前に必ずメモリーカードへバックアップしてください。また、スピーカーやアンプなどの電源はオフにし、出力のボリュームはすべて最小とし、音声信号は入力しないでください。
- ・ 上図に示した以外にアップデートに関係しないコンポーネントがされている場合には、それらの電源をオフにしてください。

- ・ A18/AO8をアップデートする際、以下の制限事項があります。これらが守られない場合、アップデートできない可能性があります。
 - アップデートに使用する68pinケーブルが接続されているポートと、ユニットにあるセレクトスイッチで選択されているポートを合わせる。
 - ファームウェアが空の場合(A18/AO8の7-セグメント表示器が88と表示)、上記を満たした後再度電源を入れます。ただし、そのタイミングは、ユニット毎にアップデートの直前に行なってください。
- ・ DIO8をDSP1D経由でアップデートする際、以下の制限事項があります。これが守られない場合、アップデートできない可能性があります。
 - DIO8のOUTPUT AとDSP1DのINPUTポートのどちらかを接続する。

- 2 アップデート前に他のソフトウェアや常駐プログラムをすべて終了します。
- 3 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。
- 4 入力欄に D:\LOADER\PM1DLOAD.EXE (ご使用のCD-ROMドライブがD:ドライブの場合)と入力し、OKをクリックします。
- 5 PM1DLOADが起動し、モードセレクト画面が出たら Host I/F ①を選択し、OKをクリックします。

NOTE : MODE SELECT (モードセレクト) 画面で Card Direct ② を選択すると、アップデートできません。

- 6 アップデートソフトウェアPM1DLOADが起動したら、[Setup]メニュー③のSerial Portの欄にてコンピューター側のシリアルポート(ポート1~9のみ対応)を選択します。
- 7 [Setup]メニュー③のConnection Pointの欄にて、手順1で接続した接続先を指定します。DIO8(Direct)はこの設定を無視します。設定する必要はありません。
- 8 対象選択メニュー④からアップデートしたいコンポーネントを選択します。
- 9 [GetVer.]ボタン⑨をクリックします。現在の各ファームウェアのバージョンが表示されますので、リストのROMバージョン欄⑦とFileバージョン欄⑧を比較し、バージョンの異なるすべての行にチェックマークを付けます。

NOTE :

- ・ ファームウェアが消去されている場合にはバージョンは表示されません。その場合にもチェックマークを付けてください。
- ・ AO8はポートBからバージョンが取得できない場合がありますが、制限事項に従った接続/設定がなされていれば書き込みは可能です。

10 [Write]ボタン⑩をクリックします。手順9でチェックされた項目のアップデートが開始されます。

なお1度でも書き込み動作に入ると、CS1Dの画面上には“ If loading is completed, Please re-start. ”というメッセージが表示されます。

NOTE : A18/A08、D108のDSP1D経由の場合は手順1に記した制限事項のためにアップデートされないユニットがある可能性があります。
(この場合、ユニットをスキップした旨を伝えるメッセージが表示されます。)

11 アップデートが完了したら、アップデート対象のコンポーネントの電源を入れなおします。

12 [GetVer.]ボタン⑨をクリックします。アップデート対象のコンポーネントのROMバージョン欄⑦とFileバージョン欄⑧が同じになるか確認します。

取得できない場合、またはバージョンが食い違う場合はアップデートが失敗しているため、手順9から繰り返します。

13 すべてのコンポーネントがアップデートされるまで 手順1から12まで を繰り返します。

14 次項に記述のCS1D画面ソフトウェアのアップデートを行なった後、すべてのコンポーネントをもう一度再起動します。

15 CS1D起動時にVERSION CHECKポップアップ画面が表示されず従来どおり使用できることを確認できたらPM1DLOADを閉じて終了します。

NOTE : 失敗している場合はVERSION CHECKが失敗した旨のポップアップが表示されます。設定/接続を確認し、手順1から再度アップデートしなおしてください。



アップデート中は絶対にシステムの電源を切らないでください。また、アップデート中にケーブルの抜き差しも行わないでください。もしアップデートが途中で中断されてしまった場合は、各コンポーネントの電源を一旦オフし、5秒以上経ってから再び電源をオンして再度書き込みを行ってください。

CS1D画面ソフトウェアのアップデート方法

CS1D画面ソフトウェアのアップデートにはメモリーカードを1枚使用し、CD-ROM内のファイルをメモリーカードを媒介にCS1D内へコピーします。この手順の前に必ず前項のファームウェアのアップデートを行なってください。

- 1 市販のメモリーカードとそれを読み書きできる環境 (PCMCIA Type IIスロットがあるノート型コンピューターなど)を準備します。
また、CS1D本体の電源を切っておきます。
- 2 フォーマット済みのメモリーカードをコンピューターに挿入します。
フォーマット方法についてはコンピューターやカードの説明書を参照してください。
- 3 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブを開きます。
- 4 「CS1DAPP」フォルダーを開き、[編集]メニューから[すべてを選択]を選択します。
続いて、同じく[編集]メニューから[コピー]を選択します。
- 5 「マイコンピュータ」から挿入したメモリーカードのドライブを開きます。
- 6 [編集]メニューから、[貼り付け]を選択します。
- 7 コピーが完了したら、メモリーカードを取り出します。
カードの取り外し方法についてはコンピューターやカードの説明書を参照してください。
- 8 メモリーカードをCS1DのPC ATA STORAGE CARDスロットのAまたはBへ挿入し、CS1Dの電源を入れます。
通常の起動タイトル画面が出なくなり、アップデートモードになります。
- 9 「START?」と画面に表示されたら、トラックパッドを使ってOKボタンをクリックします。
このとき、CANCELボタンをクリックするとCS1Dは停止状態になります。挿入したカードを抜き、CS1Dを再起動してください。
- 10 「COPY OK」の表示が出たら挿入したカードを抜き、CS1Dを再起動します。
- 11 メモリーの初期化 INITIALIZE ALL MEMORIES を行ないます。
メモリーの初期化方法については、リファレンスマニュアル(ソフトウェア編)を参照してください。



- ・PC ATA STORAGE CARDスロットにはメモリーカードを1枚だけ挿入してください。他の空きスロットに同時にカードを挿入しておくと正しくアップデートできない可能性があります。
- ・全システムをアップデートした場合は、必ずINITIALIZE ALL MEMORIESを行ってください。初期化をしない場合の動作保証は致しません。詳しくはリファレンスマニュアル(ソフトウェア編)を参照してください。

ライセンスのインストール

動作環境

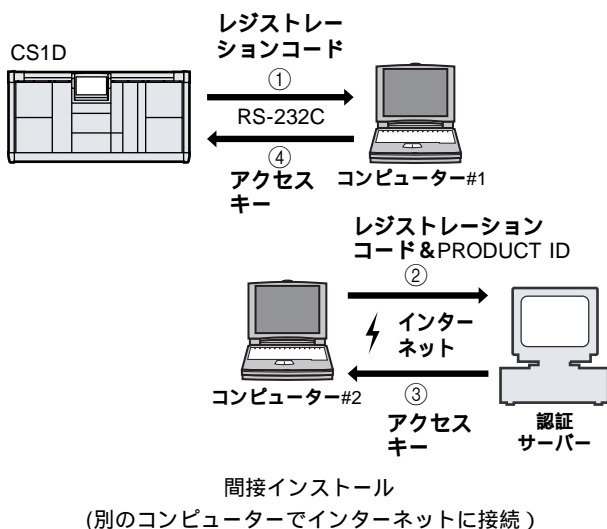
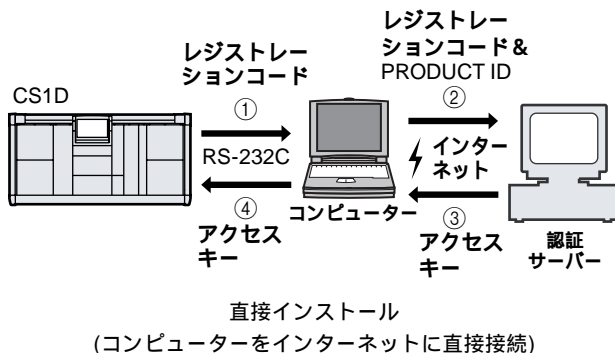
ライセンスをインストール(V2にアップデートされたソフトウェアを認証)するためには、以下のコンピューターとインターネット接続環境が必要です。

NOTE: お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

OS:	Windows 98SE, Me, 2000, XP Home Edition, XP Professional
コンピューター:	433MHz以上のIntel PentiumまたはCeleronファミリープロセッサ搭載のPC (RS-232C端子装備)
メモリー:	128 MB 以上
ハードディスク:	10 MB以上の空き容量
ディスプレイ:	1024 x 768 ピクセル、256 色以上 (High Color16 ビット以上推奨)
その他:	インターネット接続、Internet Explorer 5.0以上

インストールの流れ

お使いのコンピューター環境に応じて、以下の2種類のインストール方法(直接インストール、間接インストール)があります。通常は、直接インストール(コンピューターを直接インターネットに接続してインストールする方法)をおすすめします。



*上の図の丸数字はインストールの作業順を示しています。

NOTE:

- 一度インストールしたシステムソフトウェアのライセンスをデオーソライズし、別のCS1Dにインストールすることもできます。ただし、デオーソライズした状態のCS1Dは、もう一度インストール(オーソライズ)し直すまでお使いいただけなくなります。
- 工場出荷時にシステムソフトウェアがV2になっているCS1Dは、PRODUCT IDがありませんので、一度デオーソライズすると再インストール(オーソライズ)できなくなりますのでご注意ください。

PRODUCT ID (プロダクトID)

お買い上げのソフトウェアパッケージごとに固有の番号です。アクセスキーを取得するために必要です。CD-ROMケースのシールに表示されています。

レジストレーションコード

お使いのCS1Dごとに固有の番号です。アクセスキーを取得するために必要です。お使いのコンソール内部の情報から自動的に作成されます。

アクセスキー

ライセンスをインストールするために必要です。PRODUCT IDとレジストレーションコードを使って、インターネット経由で認証サーバーから取得します。

NOTE: レジストレーションコードとアクセスキーは、紛失しても取得し直すことができます。その場合、PRODUCT IDが必要になりますので、インストール後もPRODUCT IDは大切に保管してください。

インストールのご注意

- 1台のCS1Dにのみインストールできます。
- インストール作業は、お客様ご自身の責任において行っていただきます。
- このインストールを実行すると、CS1D内のユーザーメモリーが消去され、設定内容がすべて初期化されます。インストールする前に、大切なデータは必ずバックアップしておいてください。
- インストールを実行する前に、各コンポーネントのファームウェアおよびCS1D画面ソフトウェアをV2にアップデートしておいてください。
- インストール作業中にPW1Dの電源を切ったり、ケーブルを抜いたり、このマニュアルに記載された手順と異なった操作をしたりすると、CS1Dが故障する場合がありますのでご注意ください。
- インストール作業中にケーブル不良などの原因でインストールに失敗した場合、PW1Dの電源を入れ直すと通常のモードではなくVERSION CHECKポップアップ画面で起動します。この場合は、ケーブルを交換してもう一度インストールを実行してみてください。
- インストールに失敗し、もう一度インストールを実行してもCS1Dが正しく動作しない場合は、巻末のヤマハインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- インストールを実行する前に、すべてのアプリケーションプログラムを終了しておいてください。また、インストール実行中は、別のプログラムを実行したり、ウィンドウを切り替えたりしないでください。
- 省電力モードなどでコンピューターが待機状態になると、CS1Dへのデータ転送が止まる場合があります。待機状態に移行しないように設定しておいてください。

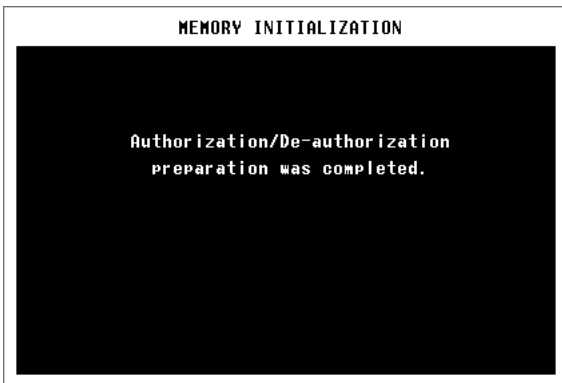
直接インストール

コンピューターを直接インターネットに接続している場合は、以下の手順でインストールしてください。別のコンピューターでインターネットに接続する場合は、10ページをご参照ください。

! CS1Dのユーザーメモリーにあるデータは初期化されます。メモリーカードを使って、大切なデータはあらかじめバックアップしておいてください。(CS1D取扱説明書を参照)

NOTE: エラーメッセージが表示された場合は、13ページのエラーメッセージリストをご参照ください。

- 1 コンピューターを起動して、以下の準備が完了していることを確認します。
 - ・ コンピューターとCS1DをD-sub 9ピンのクロスケーブルで接続
 - ・ コンピューターをインターネットに接続
 - ・ CS1Dのユーザーメモリーにあるデータをバックアップ (CS1D取扱説明書を参照)
 - ・ 各コンポーネントのファームウェアおよびCS1D画面ソフトウェアをV2にアップデート
- 2 PW1Dの電源を入れ、CS1Dのディスプレイにオープニング画面が表示されたら、トラックパッドの下にある左右のスイッチを押し続けます。ディスプレイに「MEMORY INITIALIZATION」と表示されるまで、スイッチを押し続けてください。
- 3 AUTHORIZE/DE-AUTHORIZEボタンをクリックします。ディスプレイに「Authorization/De-authorization preparation was completed.」と表示されます。



- 4 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
- 5 CD-ROMドライブの中の「Upgrade」フォルダごとハードディスクにコピーします。インストーラーをCD-ROMドライブから直接起動しないでください。

- 6 「Upgrade」フォルダの中の「PM1DUpgrade.exe」をダブルクリックします。インストーラーの画面が表示されます。



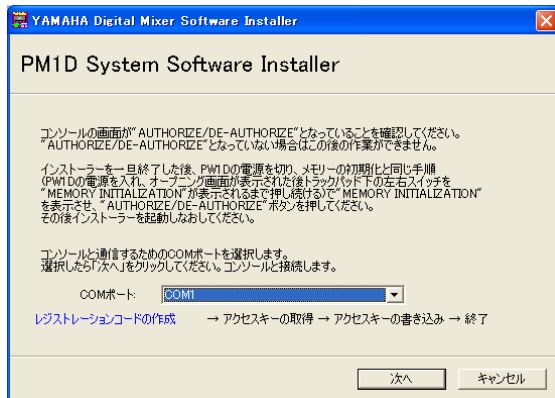
- 7 「オーソライズ」を選択して、[次へ]をクリックします。以下の画面が表示されます。



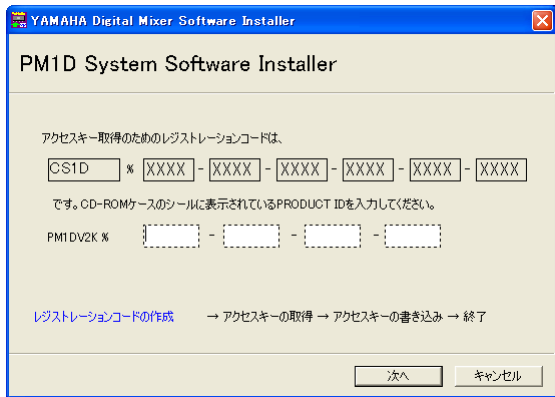
- 8 「アクセスキーを認証サーバーから取得します」を選択して、[次へ]をクリックします。以下の画面が表示されます。



- 9 「レジストレーションコードを作成します」を選択して、[次へ]をクリックします。
COMポートの設定画面が表示されます。



- 10 CS1Dと接続されているCOMポート(COM1～4のみ対応)を選択して、[次へ]をクリックします。
「コンソールに接続中です」というメッセージが表示されたあと、レジストレーションコードを表示します。



- 11 CD-ROMケースのシールに表示されているPRODUCT IDを入力して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



NOTE : 入力したあとにPRODUCT IDは大切に保管してください。レジストレーションコードやアクセスキーを紛失しても、PRODUCT IDがあればインストールをやり直すことができます。

- 12 「今すぐインターネット上の認証サーバーに接続してアクセスキーを取得します」を選択して、[次へ]をクリックします。
「アクセスキーを取得します」という画面が表示されます。

- 13 インターネットに接続できる準備ができていることを確認して、[次へ]をクリックします。
認証サーバーに接続して、アクセスキーを取得します。

- 14 アクセスキーを取得すると以下の画面が表示されます。



- 15 「今すぐアクセスキーを書き込みます」を選択して、[次へ]をクリックします。
COMポートの設定画面が表示されます。

- 16 手順9と同じCOMポートを選択して、[次へ]をクリックします。
進行状況を示すダイアログが表示されて、インストールを開始します。

- 17 インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。



また、インストールが完了すると、CS1Dの画面が以下のように表示されます。



18 「続いて、オンラインユーザー登録を行ないます」を選択して、[終了]をクリックします。
ブラウザが起動して、ユーザー登録のページが開きます。ユーザー登録を行なうことにより、さまざまな情報やサポートを受けることができます。

19 PW1Dの電源を入れ直します。
CS1Dが通常のモードで起動します。
以上でインストールは完了です。

間接インストール

CS1Dに接続しているコンピューター#1とは別のコンピューター#2でインターネットに接続している場合は、以下の手順でインストールしてください。

! CS1Dのユーザーメモリーにあるデータは初期化されます。メモリーカードを使って、大切なデータはあらかじめバックアップしておいてください。(CS1D取扱説明書を参照)

NOTE: エラーメッセージが表示された場合は、13ページのエラーメッセージリストをご参照ください。

コンピューター#1で、直接インストールの手順1~11を実行して(8ページ)、以下に進みください。

12 「後でアクセスキーを取得するので、レジストレーションコードを保存します」を選択して、[次へ]をクリックします。以下の画面が表示されます。



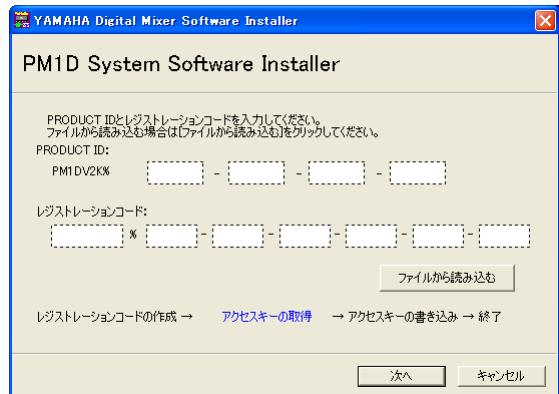
13 [ファイルに保存]をクリックして、PRODUCT IDとレジストレーションコードをテキストファイルに保存します。紙に書き留めてもかまいません。

14 保存したテキストファイルをインターネットに接続したコンピューター#2にコピーします。以下はコンピューター#2での操作です。

15 コンピューター#2で、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して、「Upgrade」フォルダをフォルダごとハードディスクにコピーします。

16 「Upgrade」フォルダの中の「PM1DUpgrade.exe」をダブルクリックします。インストーラーの画面が表示されます。

17 「オーソライズ」「アクセスキーを認証サーバーから取得します」「レジストレーションコードを既に取得しています」の順に選択して、[次へ]をクリックします。以下の画面が表示されます。



18 [ファイルから読み込む]をクリックして、手順13で保存したテキストファイルを読み込みます。紙に書き留めた場合は、キーボードから入力してください。

19 PRODUCT IDとレジストレーションコードが表示されていることを確認して、[次へ]をクリックします。「アクセスキーを取得します」という画面が表示されます。

20 インターネットに接続できる準備ができていることを確認して、[次へ]をクリックします。認証サーバーに接続して、アクセスキーを取得します。

21 アクセスキーを取得すると以下の画面が表示されます。



22 「後で書き込むのでアクセスキーを保存します」を選択して、[次へ]をクリックします。以下の画面が表示されます。



- 23 [ファイルに保存]をクリックして、アクセスキーをテキストファイルに保存します。
画面を見ながら紙に書き留めてもかまいません。
- 24 保存したテキストファイルをCS1Dに接続したコンピューター#1にコピーします。
以下はコンピューター#1での操作です。
- 25 インストーラーを起動して、「オーソライズ」「アクセスキーを既に取得しています」の順に選択して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



- 26 [ファイルから読み込む]をクリックして、手順23で保存したテキストファイルを読み込みます。
- 27 アクセスキーが表示されていることを確認して、[次へ]をクリックします。
COMポートの設定画面が表示されます。
- 28 手順9と同じCOMポートが選択されていることを確認して、[次へ]をクリックします。
進行状況を示すダイアログが表示されて、インストールを開始します。
- 29 インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。



- 30 「続いて、オンラインユーザー登録を行ないます」のチェックを外して、[終了]をクリックします。
インターネットに接続しているコンピューターで以下のページにアクセスして、ユーザー登録をおすすめします。ユーザー登録を行なうことにより、さまざまな情報やサポートを受けることができます。
<http://proaudio.yamaha.co.jp/user/index.html>

NOTE: レジストレーションコードおよびアクセスキーは、インストール完了後は無効になります。再インストール時のトラブルを防ぐため、インストールの完了を確認したら、保存してあるレジストレーションコードおよびアクセスキーのテキストファイルは削除をおすすめします。

- 31 PW1Dの電源を入れ直します。
CS1Dが通常のモードで起動します。
以上でインストールは完了です。

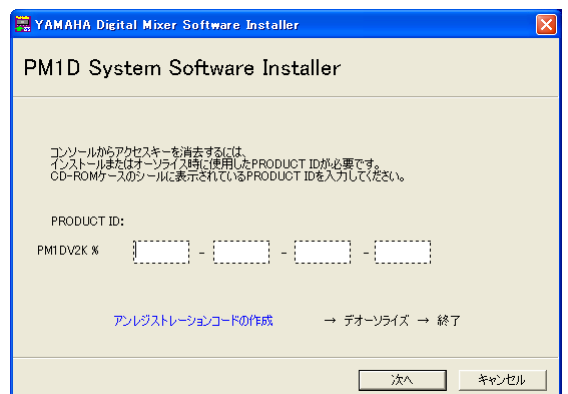
直接デオーソライズ

一度インストールしたライセンスを別のCS1Dに移したい場合は、ライセンスをデオーソライズする必要があります。コンピューターを直接インターネットに接続している場合は、以下の手順でデオーソライズしてください。別のコンピューターでインターネットに接続する場合は、12ページをご参照ください。
直接インストールの手順1～6を実行して(8ページ)、以下にお進みください。

- 7 「デオーソライズ」を選択して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



- 8 「アンレジストレーションコードを作成します」を選択して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



- 9 PRODUCT IDを入力して、[次へ]をクリックします。
COMポートの設定画面が表示されます。

10 CS1Dと接続されているCOMポート(COM1~4のみ対応)を選択して、[次へ]をクリックします。

「コンソールに接続中です」というメッセージが表示されたあと、アンレジストレーションコードが表示されます。



11 「インターネットの認証サーバーに接続して今すぐデオーソライズを行ないます」を選択して、[次へ]をクリックします。「デオーソライズを行ないます」という画面が表示されます。

12 インターネットに接続できる準備ができていることを確認して、[次へ]をクリックします。認証サーバーに接続して、デオーソライズを行ないます。

13 デオーソライズが完了すると、以下の画面が表示されます。



以上でデオーソライズは完了です。このライセンスを別のCS1Dにインストールする準備ができました。

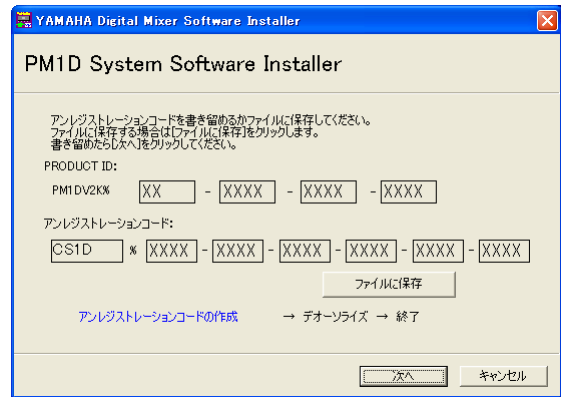
間接デオーソライズ

一度インストールしたライセンスを別のCS1Dに移したい場合は、ライセンスをデオーソライズする必要があります。CS1Dに接続しているコンピューター#1とは別のコンピューター#2でインターネットに接続している場合は、以下の手順でデオーソライズしてください。

直接オーソライズの手順1~10を実行して(11ページ)、以下にお進みください。

11 「あとで手続きを行なうので、アンレジストレーションコードを保存します」を選択して、[次へ]をクリックします。

以下の画面が表示されます。



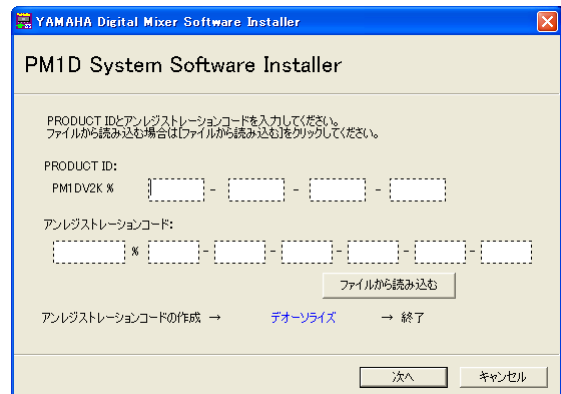
12 [ファイルに保存]をクリックして、PRODUCT IDとアンレジストレーションコードをテキストファイルに保存します。紙に書き留めてもかまいません。

13 保存したテキストファイルをインターネットに接続したコンピューター#2にコピーします。以下はコンピューター#2での操作です。

14 コンピューター#2で、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して、「Upgrade」フォルダをフォルダごとハードディスクにコピーします。

15 「Upgrade」フォルダの中の「PM1DUpgrade.exe」をダブルクリックします。インストーラーの画面が表示されます。

16 「デオーソライズ」「アンレジストレーションコードを既に作成してあります」の順に選択して、[次へ]をクリックします。以下の画面が表示されます。



17 [ファイルから読み込む]をクリックして、手順12で保存したテキストファイルを読み込みます。紙に書き留めた場合は、キーボードから入力してください。

18 PRODUCT IDとアンレジストレーションコードが表示されていることを確認して、[次へ]をクリックします。「デオーソライズを行ないます」という画面が表示されます。

19 インターネットに接続できる準備ができていることを確認して、[次へ]をクリックします。認証サーバーに接続して、デオーソライズを行ないます。

20 デオースライズが完了すると、以下の画面が表示されます。



デオースライズが完了すると、CS1Dの画面が以下のように表示されます。



以上でデオースライズは完了です。このライセンスを別のCS1Dにインストールする準備ができました。

エラーメッセージリスト

入力エラー

- ・ **PRODUCT IDが間違っています。**
- ・ **レジストレーションコードが間違っています。**
- ・ **アンレジストレーションコードが間違っています。**
- ・ **アクセスキーが間違っています。**
PRODUCT ID、レジストレーションコード、アンレジストレーションコード、アクセスキーの入力ミスがないかご確認ください。
- ・ **ファイルの中身が正しいデータではありません。**
レジストレーションコード、アンレジストレーションコード、アクセスキーを保存したテキストファイルであることを確認してください。また、ファイルが壊れているかもしれませんので、もう一度ファイルを保存し直してみてください。

コンソールへの接続エラー

- ・ **コンソールに接続できません。**
PW1Dの電源が入っていて、CS1DとD-sub9ピンクロスケープルで接続されていることを確認してください。CS1Dが通常モードになっている場合は、PW1Dの電源を入れなおし、CS1Dのディスプレイにオープニング画面が表示されたら、トラックパッドの下にある左右のスイッチを押し続けて、MEMORY INITIALIZATIONモードで起動してください。上記に問題がなければ、PW1Dの電源を入れなおしたり、インストーラーを起動しなおしたりしてみてください。
- ・ **コンソール内のライセンス管理情報を初期化できません。**
- ・ **レジストレーションコードの作成に失敗しました。**
もう一度インストールしてください。
- ・ **コンソール内のライセンス管理情報が初期化されていません。**
レジストレーションコードを取得したCS1Dとは別のCS1Dにインストールしようとしていないかを確認して、もう一度インストールしてください。
- ・ **コンソールにアクセスキーが書き込めませんでした。**
PRODUCT IDやアクセスキーに間違いがないことを確認して、もう一度インストールしてください。
- ・ **コンソールからアクセスキーを消去できません。アクセスキー発行の際に使用したPRODUCT IDではありません。PRODUCT IDを確認の上、再度デオースライズを実行してください。**
PRODUCT IDがアクセスキーを取得したときのPRODUCT IDと同じであることを確認して、もう一度デオースライズしてください。
- ・ **コンソールからアクセスキーを消去できません。このアクセスキーはプロテクトがかかっているためコンソールから消去することはできません。**
このアクセスキーはデオースライズできません。

認証サーバーへの接続エラー

- ・ **認証サーバーに接続できません。**
インターネットに接続しているか確認してください。また、認証サーバーにアクセスが集中している場合があるので、時間を置いてからもう一度インストールしてください。
- ・ **PRODUCT IDが間違っているため、アクセスキーを発行できません。**
- ・ **レジストレーションコードが間違っているため、アクセスキーを発行できません。**
もう一度PRODUCT IDまたはレジストレーションコードを確認してから、インストールしてください。
- ・ **このPRODUCT IDは、既にアクセスキーが発行されているため、新たにアクセスキーを発行できません。**
このPRODUCT IDのライセンスは、すでに他のCS1Dで使用済みです。別のCS1Dにインストールしたい場合は、お使いのCS1Dのライセンスをデオーソライズする必要があります。ただし、デオーソライズした状態のCS1Dは、もう一度インストール(オーソライズ)し直すまでお使いいただけなくなります。
- ・ **アンレジストレーションコードが、アクセスキーを発行したときの情報と一致しないため、デオーソライズできません。**
- ・ **アンレジストレーションコードが間違っているため、デオーソライズできません。**
もう一度アンレジストレーションコードを確認してから、デオーソライズしてください。
- ・ **このPRODUCT IDにはアクセスキーが発行されていないため、デオーソライズする必要はありません。**
インストールしたときのPRODUCT IDをもう一度確認してから、デオーソライズしてください。

コンソール側のエラーメッセージ

- ・ **“ Please grant authority ”**
アクセスキーが書き込まれていません。インストールまたはオーソライズを完了することで、システムソフトウェアが使用できるようになります。

Q: コンピューターがCS1Dに接続できない

- A: このインストーラーは、USB接続でのインストールをサポートしておりません。あらかじめ、D-sub 9ピンのクロスケーブルで接続しておいてください。
- A: 上記の設定に問題がない場合は、DSP1Dの電源を入れ直してください。

Q: コンピューターが認証サーバーに接続できない

- A: インターネットに接続されていることを確認してください。
- A: Internet Explorerの「インターネットオプション」「詳細設定」で、「SSL 2.0を使用する」「SSL 3.0を使用する」「TLS 1.0を使用する」のうち1つ以上を選択する必要があります(標準設定では選択されています)。

Q: アクセスキー、レジストレーションコード、アンレジストレーションコード、PRODUCT IDが正しくない

- A: お使いのCS1Dおよびお買い上げのパッケージによって、すべてコードが異なります。別のCS1Dまたはパッケージのコードを入力していないかご確認ください。

Q: アクセスキーを紛失した

- A: 再取得できます。CD-ROMのシールに表示してあるPRODUCT IDを確認して、もう一度インストールを実行してください。

Q: CS1Dが起動しなくなった、正常に動作しなくなった

- A: 巻末に記載されているヤマハインフォメーションセンターにお問い合わせください。

Q: 別のCS1Dにインストールしたい

- A: 一度インストールしたシステムソフトウェアのライセンスをデオーソライズして、別のCS1Dにインストールできます。ただし、デオーソライズした状態のCS1Dは、もう一度インストール(オーソライズ)し直すまでお使いいただけなくなります。

Q: 最新のシステムソフトウェアにバージョンアップしたい

- A: ヤマハのウェブサイトをご確認ください。
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、インストール、コピー、その他のご使用はおやめください。

ソフトウェア使用許諾契約

1 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル(以下「本ソフトウェア」といいます。)を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布される本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- ・ お客様ご自身が一時に一台のコンソールにおいてのみ使用することができます。
- ・ バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- ・ お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- ・ 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4 製品の保証

本ソフトウェアがディスク等の媒体で販売された場合や、ディスク等の媒体で製品に同梱された場合には、弊社は、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から14日間に限り(お受け取りの日は、受領書の写しで証明される日とします)媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。弊社はそれ以上の保証はいたしません。

5 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

6 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

7 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- ・ 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- ・ 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- ・ 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

8 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

サービスについて

■損害に対する責任

この商品(搭載プログラムを含む)の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■お客様ご相談窓口

ヤマハ P A 製品に関するご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へおよせください。

●お客様ご相談窓口：ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-6663 (電話受付=祝祭日を除く月～金 / 11:00～19:00)

ONLINE support: <http://proaudio.yamaha.co.jp/>

●営業窓口

国内営業本部 CA 営業部 営業推進グループ
PA・DMI 事業部 CA 事業開発推進部
セールス・マーケティンググループ

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11 TEL (03) 5488-5472
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1 TEL (053) 460-2455

* 名称、住所、電話番号、URL などに変更になる場合があります。

ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2005 Yamaha Corporation

WF82090 806IPAPx.x-0x A1
Printed in Japan